

●令和7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値
25000滋賀県	①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	教職員の時間外勤務が深刻な状況となっている。時間外勤務の縮減や働きやすい職場づくりによって「学校における働き方改革」を進めることが課題となっている。	県が直接実施する「研修会」は、質的向上を目指して”みつめなおして、よりよく”をテーマに開催する。「CSアドバイザー派遣」は、CSの導入にむけての情報提供や学連協の熟議の活性化により「地域と学校の連携・協働」の実現に向けた伴走支援を行う。地域と学校の連携・協働により教職員が担う業務を地域学校協働活動推進員や地域コーディネーター、ボランティア等が分担したり、協力して行う。	・多様な立場の参加につながるよう研修会を周知し、互いの立場の理解を促進する。 ・研修会では、当事者の思いに寄り添うワークショップ等の体験的な学びを充実する。 ・「地域と学校の連携・協働」を推進する事業で現在教職員が担っていることを地域学校協働活動推進員やボランティア等が分担したり、協力したりするようCSアドバイザー派遣でアドバイスする。	地域と学校の連携協働によって教職員の業務負担が軽減され、「学校における働き方改革」につながる。	・「今年度の地域と学校の連携・協働の取組によって、『学校における働き方改革』につながっている。」と回答する学校のパーセンテージ	86%	%	78
25000滋賀県	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	社会に開かれた教育課程についての教職員の理解が進んでいない。地域と学校の連携協働によって、子どもたちの主体的な学びや学びの深まりを保障することが課題となっている。	県が直接実施する「研修会」や「CSアドバイザー派遣」を通して、教職員、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、行政担当者、社会教育士等に「社会に開かれた教育課程」の理念や地域と学校が連携・協働する価値について、講演や具体的な事例、ワークショップ等により理解を深め、子どもの豊かな学びを実現する。	・研修会では、小学校から高等学校まで子どもが切れ目なく、「地域と学校の連携・協働」による豊かな学びにつながる事例等を通して学びを深める。 ・CSアドバイザー派遣では、「社会に開かれた教育課程」の理念や地域と学校が連携・協働することの価値や効果を伝え、教職員の理解を深める。	地域と学校の連携協働によって社会に開かれた教育課程が実現し、そのことで、子どもたちが主体的に学んだり、学びを深めたりすることができる。	・「今年度の地域と学校の連携・協働の取組によって、子どもの主体的な学びにつながったり、子どもの学びが深まつたりしている。」と回答する学校のパーセンテージ	91%	%	90